



Instruction

品番 FT-000

保管用・保証書付き

安全のため、ご使用前に必ず良くお読みください。
公道での使用は禁止されております。

目次

1. 商品の特徴と基本スペック
2. 付属品
3. 電動自転車の組み立て
4. サスペンション機能
5. 充電について
6. 製品仕様
7. 安全のために
8. 電動自転車の調整
9. 潤滑と補修
10. トラブルシューティング

このたびは、電動ファットバイク「Kintone E-Cruiser」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・保証書はお買い上げ日などのご記入を確かめ、本品箱内に同梱されている納品書・取扱説明書とともに大切に保管してください。

1.商品の特徴と基本スペック

連続走行距離

一回の充電での連続走行距離	25-40km
一回の充電の消費電力	0.5kw.h
耐荷重量	85kg
製品重量	27kg
標準速度	18km/h
最高速度	24km/h

電動モードでの最適な走行条件：平滑な路面，風力 2-3，平均気温 25 度。

注意：走行距離は車載重量、路面状況、起動回数、ブレーキ回数、風向き、気温、タイヤの空気圧と正確な充電方法などに関係しますので、走行する際はご注意ください。

2.付属品



※こちらのアダプターは、E-Cruiser 充電器専用となります。
他の機器や他社製品でのご使用は、故障の原因になりますのでお控えください。

3.電動自転車の組み立て

組み立ての際の注意

- ・自転車の組み立ては、自転車取扱店や専門の知識がある方に組み立てを依頼してください。
- ・前輪を取り付ける前に、ハンドルのブレーキレバーを絶対に握らないでください。
ブレーキレバーを握ると前輪のブレーキが閉じてしまい、前輪タイヤを取り付けられなくなってしまいます。

・ハンドルの取り付け

付属の六角レンチでスタンド部分のナットを外し、ハンドルの白いマークがナットの中央になるように配置し、外したナットを六角レンチで締め直して固定してください。

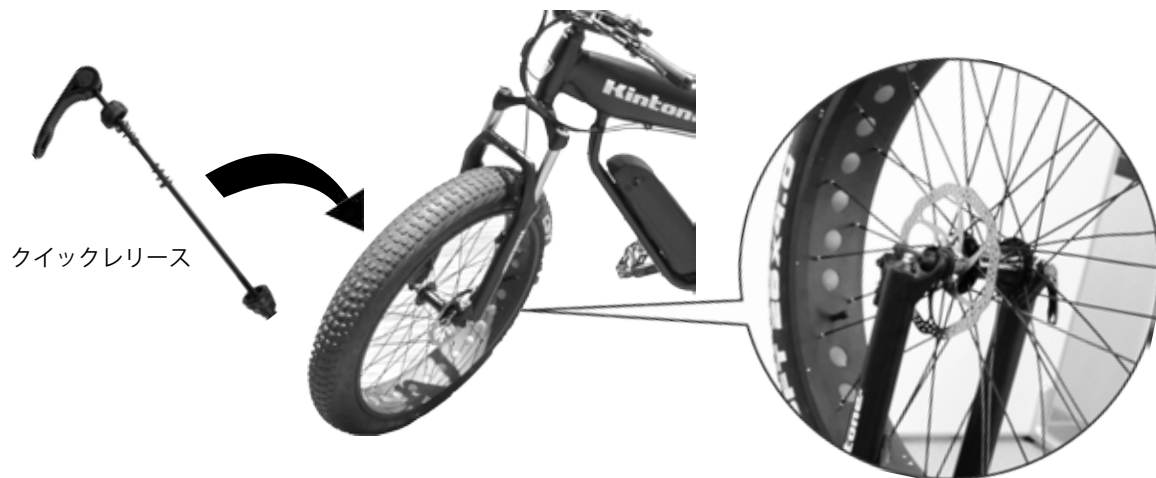


・前輪タイヤの取り付け

銀のパーツがある方を左ハンドル側にし、タイヤをはめ込みます。

(ブレーキレバーを動かしてしまうとタイヤを取り付けできなくなるので動かさないでください)

最後にクイックリリースを穴に通し前輪タイヤを取り付けます。



ペダルの装着



L (左)

R (右)

ペダルには、それぞれ L(左)、R(右)の刻印が入っています。

Rペダル・・・右ペダルを締めるときは時計回り、外すときは反時計回り。

Lペダル・・・左ペダルを締めるときは反時計回り、外すときは時計回り。

△注意

ペダルを取り付ける際、ネジを締める向きを間違えたり、うまくはまっていない状態で無理にネジを締めると破損の原因となりますのでご注意ください。

うまく取り付けられない場合ペダルの向きが合っているか一度確認してから取り付けを行ってください、無理に取り付けを行って発生した破損は有償修理となります。

4.サスペンション機能



サスペンション機能は、前輪右側にある赤いダイヤルを回すことで機能の ON/OFF の切り替えができます。

5.充電について

バッテリーの充電方法は、バッテリーを取り外して充電する方法ともう一つは車体に取り付けたまま充電を行う 2 通りの方法があります。

◎バッテリーを取り外して充電するとき

- ・バッテリーを倒した状態での充電は禁止です。電池の寿命に影響を与えるおそれがあります。
- ・充電器を安定させて置き、充電器の出力プラグ（36V 端）をバッテリーケースの充電プラグに差し込みます。
- ・それから充電器の入力プラグ（220V 端）を家庭用電源プラグに差し込みます。

◎車体上で直接充電するとき

- ・電源を切って、キーを抜いてください。
- ・充電器の出力プラグをバッテリーケースの充電プラグに挿し込み、入力プラグを家庭用電源プラグに挿し込みます。

充電時間

- ・充電器の入力端、出力端が接続されたあと、充電器の赤色表示ランプが点灯し、これは電源が接続されたことを示します。
- ・4-6 時間充電後、充電器の緑色表示ランプが点灯し、これは電池がおおむね充電されたことを示し、さらに 1-2 時間追加充電した後に電源プラグから取り外します。

充電時の注意事項

- ・充電時は子供が手を触れない安全な場所に置いてください。
- ・他のメーカーの充電器で充電しないでください、本充電器には適しません。
- ・充電器内には高圧の電気回路を含みますので、安易に分解しないでください。。
- ・使用時・保管時に液体や金属片が充電器内部に入り込まないようにしてください。落下や衝突を避け、損傷しないようにしてください。
- ・充電器を充電している時は、いかなる物品もかぶせないでください。
- ・本充電器は室内での使用タイプです。風通しの良い場所で使用してください。
- ・充電中に、異臭や過剰な高温を感じた時は、すぐに充電をやめカスタマーサポートにお電話ください。

6.製品仕様

本品の起動方法

- ・イグニッションキーをバッテリーケース右側の電源スイッチに入れ、ON に回します。このときバッテリー表示装置が点灯し、電源が入ったことを表します。
- ・液晶ディスプレイの電源ボタン長押しで電源が入ります、自転車が起動を開始し、右手ハンドル側のアクセルボタンを押すと押した際のボタンの沈み込みの度合いにより、速度が変化します。
- ・メータースイッチが開き、バッテリー表示等がすべて点灯します。「電池残量表示」が点滅する時はすぐに充電してください。

走行中の注意事項

- ・自転車を起動してすぐはゆっくり加速するようにしてください。瞬間的な加速による電力の浪費または電気機器部品の損傷を避けることができます。
 - ・上り坂時は、液晶ディスプレイの電源を入れて電動アシスト機能をお使いください。
 - ・安全な走行速度を確保し、急加速や頻繁なブレーキ、起動をなるべくしないようにしてください。バッテリーが長持ちします。
 - ・走行中、ブレーキをかけた後にギア調節レバーを頻繁に切り替えないでください。モーターが過負荷となり他の機械部品を損傷するおそれがあります。
- この自転車の耐荷重量は 85kg（運転者の体重を含む）です。耐荷重量を超えての走行はしないでください。

停車時の注意事項

- ・自転車を降りて押している時は電源スイッチをオフにしてください。押しているときに意図せずにアクセルボタンを回してしまい、自転車が突然起動し事故が発生することを避けることができます。
- ・静止時に頻繁に電源を入れないようにしてください。バッテリー、モーター及び電気機器スイッチの使用耐用年数を伸ばすことができます。
- ・停車時は電源を切り、キーを抜いてください。

7.安全のために

- ・お客様と周りの安全のため、交通ルールを守り、ゆっくりと走行し、危険な運転はしないでください。
- ・説明書をよく読み、電動自転車の性能を把握してから、電動自転車を使用してください。
- ・他人への貸出でお客様の電動自転車が損傷を受けないようご注意ください。
- ・ハンドルの高さを調節するとき、スタンドパイプの安全ケーブルが露出しないように注意し、またハンドルコスクリューの締付ボルトのトルクが 18.Nm より小さくならないようにしてください。
- ・サドルの高さを調整するとき、サドルの安全ケーブルが露出しないように注意し、またサドルのクランプスクリューとサドルパイプのクランプスクリューの締付トルクが 18N.m より小さくならないようにしてください。
- ・雨、雪の天気及び路面が滑りやすい時また下り坂の走行中は、ゆっくりと走行し、ブレーキ時には制動距離を多く取り、安全を確保してください。
- ・本品は雨、雪の天気でも走行できますが、浸水はできません。
水位が高く後輪モーターの車輪ハブが水浸しとなる場合、車両全体内部の回路のショート及び電気機器の損傷を引き起こしますのでご注意ください。
- ・本品のバッテリーケースの二つの接点を、濡れた手または金属部品と同時に接触しないでください。
充電器がショートし、感電する危険性があります。
- ・前輪と後輪の締付トルクはそれぞれ 24N.m と 30N.m です。

- ・当製品は、公道を走行することはできません。
- ・付属品以外の部品をつけた場合、塗装の変更、改造、分解、規定品以外の部品交換をされた場合保証対象外となりますのでご注意ください。

8.電動自転車の調整

ブレーキの調整

本製品のブレーキは、油圧式のブレーキです。

調整を行う際は、自転車専門店や専門知識のある方に調整を依頼してください。

サドルの調整

自転車にまたがって足が地面につかない場合、サドルの調整をおこなってください。

サドル下に取り付けてあるレバーを緩めてサドルの高さを調節できます。

高さ調整が完了したら動かないように固定し直して下さい。

チェーンの調整

自転車を長く走行させているとチェーンが緩んできます。

安全のため緩んできたチェーンは定期的を確認し調整し直してください。

後軸両辺の M12 ナットを緩めたあと、後輪をそっと後ろに移動させ、適切なチェーンの張り度になるまで行い、同時に後輪とフレームが平面で平行になるように注意し、その後両辺の M12 ナットを再度締めます。

もし、チェーンが張りすぎているなら、上述の方法の逆向きで操作を行うことができます。

尖ったパーツや細かい部品などがありますので、破損やお客様の安全のため専門知識や技術が必要になる調整は、専門店へ調整をご依頼下さい。

9.潤滑と補修

潤滑方法

チェーン、ワイヤーは三か月に一度潤滑油（10 \times オイル）を注してください；モーター軸受及びそのほかの回転部品は、一年半から二年ごとに専門の整備員に潤滑油を注してもらってください。

走行中の安全のため、また同時に自転車が最も良い状態を保つために、定期的にメンテナンスと洗浄を行ってください。

◆定期メンテナンスのセルフチェック内容

- ・前輪と後輪のボルトは締まっていますか。
- ・タイヤの溝が摩耗したり裂けたりしていませんか。
- ・変速システムは円滑ですか。
- ・前輪と後輪のタイヤの空気圧は適切ですか。
- ・各部分のジョイントはロックされていますか、また腐食していませんか自転車？ブレーキケーブルランヤードは潤滑状態で使用されていますか。
- ・もし長期間本製品を使用していなければ、定期的（一般的には一か月に一度程度）に充電するようにしてください。
- ・定期的にバッテリーを充電し、電源を入れないと電気系統が故障し起動しなくなります。

メンテナンスと洗浄

- ・メンテナンスを行う際は、必ず手を保護する軍手やゴム手袋を着用ください。
- ・高圧洗浄を使わないでください。内部電子回路が湿って事故を引き起こすおそれがあります。
- ・中性洗剤を浸み込ませたタオルで、塗料部品またはプラスチック部品の表面の汚れをやさしく拭き、その後乾いた布で拭いてきれいにします。
- ・潤滑油を使用し車体の金属部品を拭いてメンテナンスを行ってください。
- ・前部ブレーキと後部ブレーキ、車輪ハブ、タイヤに油を注さないでください。

10.基本的なトラブルシューティング

トラブル	チェック項目	対処方法
バッテリー表示がある時とない時がある	<ul style="list-style-type: none">・電池残量が残っているか・ヒューズがショートしていないか・電池の接点が破損していないか・ヒューズが接触不良で発熱変形している	<ul style="list-style-type: none">・もう一度充電する・ヒューズを交換する (20A)・接点を交換する・ヒューズベースを交換する
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・エンジンコントロールのモータープラグが緩んでいないか・ブレーキハンドルは戻っているか	<ul style="list-style-type: none">・しっかり差し込む・ブレーキハンドルを戻す
モーターに異常音がる	<ul style="list-style-type: none">・電圧が低すぎないか・モーターが壊れている	<ul style="list-style-type: none">・充電する・交換または修理する
充電器が動かないまたは充電時が緑色に点灯する	<ul style="list-style-type: none">・ヒューズパイプをチェックする・電池と充電器プラグが接触不良でないか・電池パックの接続線が切断されている・電源ケーブルと充電穴が共用である	<ul style="list-style-type: none">・ヒューズを交換する (3A)・もう一度挿すまたはプラグを交換する・接続する・電源ロックを開けて充電する

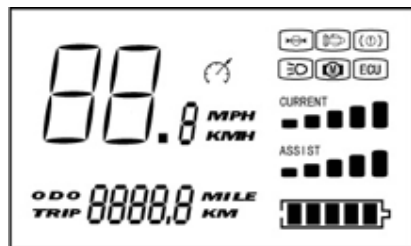
トラブル	チェック項目	対処方法
<p>キーを開けたときに モーターが高速回転する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調速ハンドルを確認 (三心ケーブルの電線が脱落している) ・エンジンコントロールが破損している 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一度しっかりと挿す ・エンジンコントロールを交換する
<p>連続走行距離が短い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドルが湿り / 雨に濡れ、モーターが浸水し、ショートした。 ・充電時間が短すぎ、電力が不足している ・電池の寿命である ・気温が低すぎて、電池の性能が落ちている ・長時間乗っていない ・充電時間が短すぎ、電力が不足している ・上り坂が多い、向かい風の走行、頻繁にブレーキを起動する ・タイヤの空気圧が足りない ・機械の故障 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンス店に持っていく ・もう一度充電し、充電器をチェックする ・電池を交換する ・車両の使用を停止し、室内で充電する ・もう一度充電し、充電状況をチェックする ・エアを入れる ・もう一度調整する

11.メーターの使用説明







外観



メインディスプレイの表示内容















機能の説明

表示内容	機能	説明
	時速	時速 表示単位は KM/H または MP/H
	走行距離	ODO は累計距離 TRIP は区間距離 機能キーで切り替え
	バッテリー表示	バッテリー残量を表示
	走行表示	表示時、走行状態を表す
	ホイール径の設置	メーカーが異なる直径のホイール径を設置するために用いる
	回転ハンドルの故障	表示時、回転ハンドルに故障が発生したことを表す

表示内容	機能	説明
	ブレーキ表示	ブレーキ時に表示される。もし非ブレーキ状態時に表示されるならブレーキが故障していると判断できる。
	ライト表示	表示時、バックライトが点灯する
	モーターの故障	表示時、モーターホールに故障が発生したことを表す
	エンジンコントロールの故障	表示時、エンジンコントロールに故障が発生したことを表す
	電流表示	5つのレベルに分けて現在の電流値を表示する
	アシスト表示	1-5段のアシスト比を表示する

操作の説明

ボタン	操作方法	表示	機能	説明
	クリック		電源スイッチ	クリックするとシステムを起動し再度クリックするとシステムを閉じる。起動時にすべての表示内容が一回表示される
	クリック		アシスト比を上げる	毎回クリックすることにより、アシスト比が一段上がる。合わせて五段
	ダブルクリック		夜間ライトを起動	連続で2回クリックし、バックライト(ヘッドライト)を点灯する
	長押し		累計距離をリセットする	2秒長押しして ODO 距離をリセットする

ボタン	操作方法	表示	機能	説明
	クリック		アシスト比を下げる	毎回クリックすることにより、アシスト比が一段下がる。合わせて5段階
	ダブルクリック		ODO/TRIP 切り替え	連続で2回クリックし、ODO/TRIPを切り替える
	長押し		区間距離をリセットする	2秒長押しして TRIP をリセットする
	長押し		ホイール径を設置する	二つのボタンを同時に長押しすると、時速表示区が点滅する。上下のボタンを押してホイール径を設置し、設置後二つのボタンを同時に押し、ホイール径の設置が成功する

配置説明

作動電圧：24V/36V/48V

システム電源を切ります。

適合モーター：速度出力電圧を付帯し、該モーターは精確に時速を表示する普通モーターを使用します。

速度表示は近似値であり、真に精確な値ではありません。

＜無料修理規定＞

1. 初期不良はお買い上げから1週間以内にお買い上げ頂いた店舗（公式通販及び取扱店代理店店舗様）にまずはご連絡頂き、保証書記載の住所へ着払いでご返送頂ければ新品交換致します。
 - その際必ず取扱説明書兼保証書とお買い上げ頂いた店舗様発行のお買い上げ明細（レシート等）を必ず同梱してください。
 - 購入明細の同梱が無い場合は弊社で確認が取れませんので、そのまま着払いにてご返送させて頂く場合がございます1週間以降の不具合につきましては本書の無料保証規定に従います。
2. 取扱説明書、本体貼り付けラベル等別途封入の書類に記載の注意書きに従った状態で保証期間内に故障した場合は無料修理を承ります。
 - お買い上げ頂いた店舗（公式通販及び取扱店代理店店舗様）にまずはご連絡頂き、保証書記載の住所へお送りください
※返送の際の送料は誠に申し訳ございませんがお客様ご負担となります。
 - 必ず取扱説明書兼保証書と、お買い上げ頂いた店舗様のお買い上げ明細（レシート等）を必ず同梱してください。
購入明細の同梱が無い場合は確認が取れませんので、そのまま着払いにてご返送させて頂く場合もございます。
 - ご返送頂いた商品を弊社にて検査させて頂き、無料修理規定内と診断した場合、交換・修理とさせて頂きます。
※お預かりしました商品のご返却にかかる送料は弊社が負担いたします。
※保証期間が過ぎた商品の修理品につきましてはの送料は往復共にお客様負担となります。
修理不可能な場合は同等商品（機能・性能において同等の再生品もしくは中古品を含むものとします）を有償交換いたします。
 - 修理期間
故障箇所や状況によって異なりますが、有償対応の修理期間を1ヶ月以上頂く場合がございますので予めご了承ください。

3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- ・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- ・お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- ・火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス毒(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
- ・車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
- ・一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
- ・腐食、経年劣化による故障及び損傷
- ・タイヤ及び塗装の摩耗や打痕による損傷
- ・本書のご添付がない場合
- ・本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。